

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表			
事業所名	てらびあぼけっと春日部駅前教室		
公表日	2026年	3月	20日
利用児童数	年	月	日
			回収数14

	チェック項目	はい				どちらとも いえない		ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	2	1	1	動けるプログラムがあればよい。スペースが狭いのではない。	事故がおきないように職員の見守りを重視していきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	0	0	1	お子様一人に先生が1人つくので安心しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	0	1	特に配慮されているとは思いません。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	0	0	0	清潔感はあると思います。		
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等にに応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1	0	1	専門性を活かして支援をしてくれていると思います。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11	1	1	1	概ね予定通りだと思えます。		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	1	1	もう少し具体的に説明があってもよいと思います。	どの時期までに何をやって、次は何をすべきかを明確にしていきます。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	1	1	1	家族支援のところはもう少しあってもよい。	お家でできること、次の支援までにできることをもう少し具体的に案内していくようにします。	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	2	0	0	言語聴覚士の支援が予定より少ない。計画通りだと思います。	STの支援は言語支援を必要とするお子様に満遍なく配置してきますが、曜日によって偏ってしまった所は改善します。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1	1	3	数字の照らし合わせなどをしてほしい。		
保護者 への 説明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	4	1	事業所以外の子供と交流する機会は今のところありません。設けてほしいとは思いません。	個別療育が基本なので他の事業所と交流を図る必要性はないと考えます。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12	1	1	0	利用者負担については詳しく説明がありました。	十分にご納得してもらったうえで支援を行いたいと思います。今後はより一層丁寧な説明に心がけていきます。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	1	0	変更されたときは詳しく説明がされました。	どのような意図でどのプログラムを選んだかをしっかりと説明していきたいと思えます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1	4	3	家庭内での様子の聞き取りや事業所の時間内での見学などで行われていると思います。	お子様の療育のことは勿論、発達障害についての知見や小学校入学以降の流れなど様々な知識を伝達していきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	2	1	0	よく理解してくれていると思います。	支援だけでなく保護者様にフィードバックをする時間を今後は大切にしていきたいです。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1	2	0	いつもアドバイスをいただけてありがとうございます。いつも話をきいてくださりありがとうございます。	今後も面談する機会を設け、相談しやすい環境を整備してまいります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	2	0	0	いつも自分のことのように真剣に向き合ってくれます。	今後もお子様第一で支援してまいります。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	3	7	4	いまのところ保護者どうしの交流の機会はなかったように思います。	今後弊所の卒業生をお招きして交流を図る機会を設けたいと思えます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	2	2	1	すぐに対応してくれます。	相談の申し入れがあったらすぐに対応することは今後も徹底してまいります。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	2	0	0	とても配慮してくれていると思います。	どんな些細なことでも気になることがあればお伝えするようにしています。	
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	0	0	4	もう少し活動の場がわかるようにしてほしい。	ブログにアップする頻度を上げていきたいと思えます。支援中の動画を撮影して保護者様にお見せすることも検討します。		
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	1	されていると思います。	今後も注意してまいります。		

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	1	3	訓練はしているようですが内容を詳しくはしりません。	今後は訓練等を実施した場合に詳しく内容をお伝えしていきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	1	7	行われていると思います。	実施はしているもののそのときに在籍していなかったお子様に対して避難訓練をした報告がなされていなかった。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	1	1	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	0	0	8		もう少し詳細をお伝えしておくべきだと思います。避難訓練などの実施報告を詳しく伝えていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	1	0	1	安心して過ごせていると思います。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	3	1	1	行き渋りなどはなく表情も明るいので大丈夫だと思います。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	2	0	0		

事業所における自己評価結果

公表		事業所における自己評価結果				
事業所名	てらびあぼけっと春日部駅前教室					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	先生の数を充足させ監視体制を強化している	個室のスペース内に玩具や掃除用が置いてあるため改善が必要
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4	お子様一人に対して一人の先生を配置するようにしている	教室の方針である1対1になっていない日がある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2		情報伝達ができていないことがあり改善が必要
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	2	清掃などを特に気を使ってやっています。	トイレが大人用に子供便座を置くスタイルで使いにくく子供も苦手そう
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	5	少人数でのスタッフでの集まりで情報は共有できているが、全員となると不備がある。	PDCAに関してもっと話し合いが必要
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3	アンケートを実施するだけでなく面談の頻度を増やして保護者様の意見を聞く機会を増やす。	保護者の意向や意見を迅速に把握できるようにしたい。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	2	職員との面談の機会を増やして困っていることを早急に把握していく。	職員の意見などを把握する機会が少ない。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	今は第三者による外部評価は行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	義務化研修は当然のこと職員個々のスキルアップのための外部研修にも参加している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	1		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	4		計画を立てた狙いや支援にどう落とし込むかをもう少し共有してほしい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	5		保護者の思いなども素早く共有していきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	お子さんの状況を把握することを第一にしている。お子様一人に対して複数の目が行き届くようにしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	2	保育園幼稚園との連携は数多くやっていたい。	地域との連携はない
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	4		話し合いの機会が少ない。共通認識をもって進めるべきだと思う。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	3		話し合いの機会が少ない。前回の続きを行うだけでプログラムはほぼ固定されている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	2		集団活動が行われていないので今後は取り入れていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	5		担当のお子様を支援するだけになっており打ち合わせや振り返りの時間をもっと設けていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	4		チームとして連携しているという実感がもてるようにしていく。振り返りの時間ももっとほしい。今後は始業前、終業後のミーティングを徹底していく。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	4	記録をとることは支援の中でも徹底している。	回数が少ない。記録に取ったものを検証する機会が欲しい。	
23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	3		モニタリングの頻度を増やした方が良いのではないかと。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	2	今後も関係機関との連携の場を設けていきたい。	会議に参画したことがあったが積極的にやっているわけではない。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3		医療との連携はない	

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2		進級先との連携はない
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学校)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	4		今後は年長のお子様に対して移行支援を強化していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	8		個別支援ですので今後もそういった機会は考えていません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	2	日ごろの支援でフィードバックの時間はしっかり確保したいと思います。	こちらからは毎回お伝えするがなかなか保護者から聞き取れていない。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0	一人一人の保護者様に対して個別に行っています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	1	こういった施設の利用が初めての人も多いので親切丁寧に説明するようにしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	1		教室のセラピーと計画に相違がある。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	日ごろの支援でフィードバックの時間はしっかり確保したいと思います。	面談の時間が少ない。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしている	1	7		卒業生の親御さんと呼んで今後は説明していきたいです。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	保護者様からの相談事があればすぐに対応しています。またラインなどで相談しやすい環境を整備しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	1	事業所内での出来事を定期的にお知らせしています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	2		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		今後は地域の行事に参加していきたいと思っています。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	2		これらのマニュアルがどこにあるのかわからない。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2	外出ができなくてもオンラインによる支援を行うことで復旧に努めている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	1	服薬やおやつなどは対応していません。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	1		窓のロックや網戸の安全管理ができていない。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	3		安全計画がどこにあるのかわからない。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	2		共有しているが再発防止の検討ができていない。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	1つの事案でも複数の職員に書いてもらうことで多角的な視点で事故を分析する。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	1		支援計画に記載されていない

事業所における自己評価総括表

公表			
○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 1日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 3月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	セラピーに関わるセラピストの情熱	常にお子様のことを考えセラピー第1に考えている。セラピー中のスタッフの数を充実させる。	一人のお子様に対して一人のスタッフがつくようにスタッフの数を確保する。今後もセラピー第1、お子様の安全第1で運営してまいります。
2	当教室への入会率が高い 継続率が高く 退会率が低い	面倒見の良さ。保護者様にお子様の状況を共有していく。	面談の回数やペアレントトレーニングなどを増やしていきより信頼されるように努めていく。
3	スタッフの勤勉さ	お子様に対する情熱があつて面倒見がよい。自発的にスタッフが自分の能力を高めるために研究に励む点。	外部への研修会などにも参加させ、スタッフの知識や技術を高め、より信頼されるセラピストになる。
	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペースが狭いので動けるプログラムが少ない	スペースが狭い。身体を動かすプログラムが少ない。	運動面に強いスタッフを採用していく。運動面に関するプログラム、教材を取り入れていく。
2	セラピーにスタッフ全員が入ってしまうことがあり、事務作業やミーティングなどの時間が足りない	スタッフ全員がセラピーを第1優先と考えるあまり、事務作業が遅れがちになる。話し合いなどの時間が少なくなってしまう。	役割分担を明確にして、効率化を図る。定期的なミーティングを行う頻度を高め、連携を強化する。
3	セラピーの見える化をしてお子様のセラピー中の様子を伝えていく。	情報発信が弱いので、何が行われているのか、何のための支援なのか伝わりにくい。	ブログやSNSでの発信を増やしていく。支援中の様子を録画して保護者様にみせていく。